

# 男女共同参画の視点からの防災

事例集



## 【取組の概要】

- ・ 女性の防災リーダー育成のため、既存の防災セミナーと連動する形で女性限定の防災セミナーを実施。
- ・ 自主防災組織とセミナー受講者間でネットワークが形成され、セミナー修了者が地域の防災活動に参画しやすくなった。
- ・ 地域の防災における男女共同参画の理解が促進し、セミナー修了者も含め、市と自治会連合会・地区防災組織が共同で男女共同参画の視点からの避難所運営マニュアルを作成。

## 【経緯】

既存の防災訓練や講座の参加者が高齢男性等、一部の人に限られ、マンネリ化。

⇒地域の防災力の底上げのため、女性も含め、幅広い層に防災について興味・関心を持ってもらい、防災活動に取り組んでもらう必要があった。

東日本大震災の際に避難所等で生じた課題から、防災における男女共同参画の重要性を認識し、有識者等による講座を単発で実施していた。

⇒平成25年5月に内閣府が作成した「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を踏まえ、女性向けの防災啓発セミナーを開催を検討。

セミナーを受講するのみで終わることのないよう、受講後に実際に地域の防災活動で活躍できるよう、既存の防災セミナーと連携して実施。

## 女性セミナー

## 防災・減災女性セミナー（H25～）

主催）市危機管理室・男女共同参画課

目的：地域の防災・減災活動に女性の視点がなぜ大切かを学び、地域の**防災・減災活動に積極的に参加したいと考えている女性のきっかけ**とする。

募集人員：30名程度

受講対象：講座修了後、各地区の防災・減災活動に積極的に参画する女性（推薦等は不要。）

講座回数：13回/年

これまでの修了者は51名（3年間）

## 既存セミナー

## 四日市市防災大学（H17～）

主催）市危機管理室

目的：大規模災害の発生に備え、地域住民が「**自助**」「**共助**」の観点から**防災・について学習し**、地域防災力の底上げを行う。

募集人員：50名程度

受講対象：地域の**自主防災組織からの推薦を受け**、地域の防災・減災活動に**継続的に活動**する意思のある者（各組織2・3名）

講座回数：18回/年

**講座の大半が合同開催  
両セミナーとも講義・ワークショップが中心**

※その他、家族(子ども)向けのファミリー講座や、発展的な内容のステップアップ講座も開設。

## 【取組のポイント】

## 既存セミナーとの連動

- ・ 合同で行うワークショップでは同地区の男性と女性が同じグループになるように配置  
⇒既存セミナーと女性セミナーの受講者が顔の見える関係に。
- ・ 女性セミナーの修了者名簿を地区防災組織や地区市民センターに提供  
⇒地区防災組織等の防災活動に、女性セミナーを修了した女性が参画しやすくなった。

## 講座内容の工夫

- ・ 女性セミナー：体験型の講座を多く実施。  
⇒防災活動の実際を具体的にイメージできるように。  
(例：地震体験車の乗車や備蓄資機材（発電機等）を実際に使用する等)
- ・ 既存セミナー：序盤の講座に男女共同参画の視点からの講座を実施。  
⇒女性が防災活動を担う意義に対する理解を促進。

## 自治会連合会の活動

- ・ 女性の視点を取り入れた防災セミナーを開催。  
(平成25年度から3年間で、28地区のうち17地区で実施し、今後も継続)



**地域の防災活動でセミナー修了女性が活躍**  
(女性セミナー修了者が地域の防災活動へ参画しやすい環境づくり)

## 取組により得られた効果

- ・ 地域防災の現場で活躍できる女性の増加
- ・ さまざまなネットワークの構築  
⇒ 自主防災組織とセミナー修了女性間のネットワーク  
⇒ 女性同士のネットワーク（修了女性が友人を伴って次年度も受講する等）
- ・ 地域全体での防災における男女共同参画に対する理解の促進



地域の自治会連合会から、男女共同参画の視点からの避難所運営の手引き作成の要望があり、市との協働で作成（平成28年2月）

男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引き（平成28年2月作成）

- ・ セミナー受講者、専門家等からなるワーキンググループ（全員女性）を発足し、内容を協議。
- ・ 市内全自治会及び全地区防災組織、防災セミナーや市の出前講座（約100回/年）、学校等避難所となる施設等に配布。
- ・ 初版は5,000部を作成。（増刷中）

男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引き

<http://bousai2.city.yokkaichi.mie.jp/home/doc/hinansyouneinotebiki.pdf>

更なる効果として...



- ・ 地域での男女共同参画の視点についての教科書的な存在に。
- ・ 各地区で作成される避難所運営マニュアルに男女共同参画の視点が導入。
- ・ 学校を中心とした避難所となる施設における防災と男女共同参画の視点に対する理解の促進。

四日市市危機管理室 059-354-8119

[kikikanri@city.yokkaichi.mie.jp](mailto:kikikanri@city.yokkaichi.mie.jp)